



生徒の実態

高等学校の1年生Bさんは、その場の状況や相手の気持ちを読み取ることが苦手な生徒である。

小学校では授業のチャイムが鳴っても教室の後ろの方でクルクル回っていたり、整列の際にその場を離れたりするなどの姿が見られ、その場の状況に合わせた行動ができていなかったそうである。また、自分の興味がない話題になると、「つままない。」「それの何が楽しいの?」と思ったことをそのまま口にし、友達と口論になっていた。5年生より通級による指導を受けることになり、主に集団でのルールや人との関わりについて学んでいた。

中学校入学後も対人関係を上手く築けなかったため、特別支援教育コーディネーターが、放課後を活用して個別にコミュニケーションの指導を行ってきた。また、外部機関を利用しながら人との関わりについて学んできた。外部機関では、視覚優位であるBさんの特徴を生かし、写真や場面絵を使ってのコミュニケーションの学習や、表情のカードを使って気持ちを読み取る学習を行ってきた。

高等学校でのBさんは、学習態度は真面目でテストの点数もよい。しかし、対人関係では、自分の興味のある話を一方的に話し、相手が困った顔をしていても気付かないため、双方向の会話を続けることが難しい。本人は友達を作りたいと思っているが、なかなかうまくできず困っている。

収集した情報を自立活動の区分に即して整理

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
	・真面目に学習に取り組むことができる。	・人と協力したり、話を合わせたりすることが苦手。 ・その場の状況に合わせた行動ができていなかった。 ・相手が困った顔をしていても気付かない。			・自分の興味のない話題では途中で口を挟む。 ・相手の反応に関係なく、自分の興味のあることを一方的に話す。

年間指導目標

- 相手の言葉や表情などから、相手の意図や感情を読み取ることができる。
- 場面の様子に合わせて適切に相手の話を聞いたり、話したりすることができる。

必要な項目の選定・指導内容の決定

	1 健康の保持	2 心理的な安定	3 人間関係の形成	4 環境の把握	5 身体の動き	6 コミュニケーション
(1)	生活のリズムや生活習慣の形成に関する事	情緒の安定に関する事	他者とのかかわりの基礎に関する事	保有する感覚の活用に関する事	姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事	コミュニケーションの基礎的能力に関する事
(2)	病気の状態の理解と生活管理に関する事	状況の理解と変化への対応に関する事	他者の意図や感情の理解に関する事	感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事	姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事	言語の受容と表出に関する事
(3)	身体各部の状態の理解と養護に関する事	障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事	自己の理解と行動の調整に関する事	感覚の保持及び代行手段の活用に関する事	日常生活に必要な基本動作に関する事	言語の形成と活用に関する事
(4)	障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事		集団への参加の基礎に関する事	感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事	身体の移動能力に関する事	コミュニケーションの手段の選択と活用に関する事
(5)	健康状態の維持・改善に関する事			認知の行動の手がかりとなる概念の形成に関する事	作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事	状況に応じたコミュニケーションに関する事

具体的な指導内容	やり取りを行う際の具体的な場面を設定し、会話をする際のルールを身に付けていく。	決められたテーマで双方向の会話を続けることを通して、適切な会話の方法を学ぶ。	いろいろな表情の写真や場面絵を見ながら、相手の感情を読み取る。
----------	---	--	---------------------------------

学級における配慮

- ・他者との適切な会話が難しいので、ペアトークを授業の中で取り入れて、会話を続けることを練習させる。
- ・グループで話し合う際に、やり取りができていないか確認しながら、個別に声を掛ける。

学習内容①「会話をするときのルールを身に付ける学習」

▶ 指導に当たって

- ・ 今までの自分のコミュニケーションの取り方について客観視させることで、自己理解を図っていく。
- ・ 会話をしている動画や教師の演示を見てコミュニケーションについて考える等、生徒の実態に合った活動を設定しながら、会話のルールを身に付けさせていく。

▶ 本時のねらい

- ・ 会話をするときのルールを知り、実践することができる。(人・コ)

指導過程

段階	学習内容	指導上の留意点																					
導入	1.最近の学校生活の様子について話す。 2.本時の目標の確認をする。	・最近の学校生活で楽しかったことを聞いたり、友達とどんな会話をしたか聞いたりすることで、緊張を緩和させてから活動に入る。																					
展開	3.今までの自分のコミュニケーションの取り方について振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">コミュニケーションチェック表</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;"></th> <th style="width: 15%; text-align: center;">できている</th> <th style="width: 15%; text-align: center;">できていない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>順番に話をする</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>途中で口を挟まない</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>分からなかったらもう一度聞く</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>相手の意見を否定しない</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>聞いている時は相手の方を見る</td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>親しい人でなければ、踏み込んだ話をしない</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table> </div> 4.グループ活動で同級生と会話をするときのルールを知る。 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0; background-color: #e6f2ff;"> <p>T「グループ活動の様子を見て、気付いたことを教えてください。」 S「話合いの順番を守っています。」 S「自分と違う意見でも、最後まで聞いています。」</p> </div> 5.学んだことを生かしながら、教師と会話をする。		できている	できていない	順番に話をする	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	途中で口を挟まない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	分からなかったらもう一度聞く	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	相手の意見を否定しない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	聞いている時は相手の方を見る	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	親しい人でなければ、踏み込んだ話をしない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>・チェック表を使いながら振り返りを行うことで、自己理解につなげていく。(生徒の実態によって、撮影した生徒の姿を見せる、上手にコミュニケーションをとれなかった場面を想起させるなどの方法も考えられる。)</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0; background-color: #e6f2ff;"> <p>T「今までのコミュニケーションを振り返ってみましょう。」 S「チェックしてみると、できていないことが多いぞ。」 S「相手を見るのは、気持ちを知るのに大事だって勉強したな。少しずつできてきているかもしれない。」 T「学習したことを生かそうとしていますね。素晴らしいです。」</p> </div> <p>・視覚優位であるという生徒の実態を生かし、グループでの会話のやり取りを録画したものを見せたり、教師が良い例や悪い例をやって見せたりしながら、コミュニケーションの方法について考えさせる。</p> <p>・できていないことを一度にさせるのではなく、チェック表の中から何をできるようにしたいかを生徒に決めさせ、順番に行っていく。</p>
	できている	できていない																					
順番に話をする	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																					
途中で口を挟まない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																					
分からなかったらもう一度聞く	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																					
相手の意見を否定しない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																					
聞いている時は相手の方を見る	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																					
親しい人でなければ、踏み込んだ話をしない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																					
終末	6.本時の学習を振り返り、自己評価をする。	・本時の学習で気付いたことを自己評価カードに書かせる。自分の関わり方を振り返ることができたことを褒め、次時の学習への意欲を高める。																					

学習内容② 「適切な会話の方法を身に付ける学習」

▶ 指導に当たって

- ・ 会話を続けられそうなテーマや興味のあるテーマを教師が設定し、生徒に選ばせることで、主体的に学習に取り組むことができるようにする。
- ・ 実際の生活場面を想定して会話を行うので、同じような課題を持つ生徒との少人数学習を設定する。

▶ 本時のねらい

- ・ 設定されたテーマに合わせて、1対1で会話を続けることができる。(人・コ)

指導過程

段階	学習内容	指導上の留意点						
導入	1.前時までの復習をする。 2.本時の目標の確認をする。	・ 友達との関わり方や最近のグループ活動の様子を聞き、頑張っている姿を認めながら本時の学習に入る。						
展開	<p>3.テーマを設定して会話をする。</p> <p style="text-align: center;">「テーマの例」</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 33%;">好きな食べ物</td> <td style="width: 33%;">マイブーム</td> <td style="width: 33%;">将来の夢</td> </tr> <tr> <td>最近うれしかったこと</td> <td>昨日家で行ったこと</td> <td>ほしいもの</td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>T 「Bさんは何の食べ物が好きですか。」 S 「ハンバーグが好きです。」 T 「なぜハンバーグが好きなのですか。」 S 「お母さんに作ってもらったハンバーグがとてもおいしかったからです。」 T 「先生は、ハンバーグは嫌いだな。すしの方がいいよ。」 S 「…。」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>T 「今のやり取りで思ったことはありますか。」 S 「否定されると嫌な気持ちになるし、会話が続きなくなりました。」</p> </div> <p>4.実際の生活場面を設定し、会話の続け方を練習する。 【A】 同級生同士の会話 ・グループ活動での会話 ・休み時間の会話 等 【B】 就職先での会話 ・上司とのやり取り ・接客の応対の仕方 等</p>	好きな食べ物	マイブーム	将来の夢	最近うれしかったこと	昨日家で行ったこと	ほしいもの	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>T 「この中から話したいことを決めて、先生と会話をしましょう。どのテーマがいいですか。」 S 「好きな食べ物がいいな。」</p> </div> <p>・ 「会話のルール」で学んだ話し方や聞き方を確認してから活動に入る。 ・ 相手が話した内容を取り上げて質問をするよう伝える。分からない場合は教師が例示する。</p> <p>・ 実際のやり取りの様子を、タブレット端末等で撮影し、振り返りを行いながら話し合う。撮影した映像は学習後に消去する。</p> <p>・ コミュニケーションの取り方は相手によって違うことを確認する。相手に合わせた言葉遣いが必要なことを確かめてから活動を行う。 ・ 同級生同士でのやり取りが難しい場合は、まずは教師が生徒役になり、会話を行う。 ・ 将来自分が就きたい職業に就いたという設定とし、やり取りを行う。</p>
好きな食べ物	マイブーム	将来の夢						
最近うれしかったこと	昨日家で行ったこと	ほしいもの						
終末	5.本時の学習を振り返り、自己評価をする。	・ ルールを守りながら会話できたことを認め、次時の学習への意欲を高める。次回は同級生と実際にやり取りをすることを伝える。						

学習内容③ 「表情から相手の感情を読み取る学習」

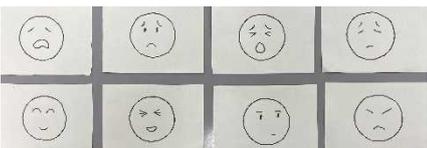
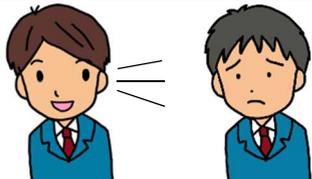
▶ 指導に当たって

- ・ 外部機関で行ってきた学習を継続するために、表情カードを使って視覚的に相手の感情を捉えさせる。その後、写真を使いながら顔の細かいところに注目させていく。
- ・ 生徒の周りで起きそうな場面を提示し、その場に応じた行動や発言の仕方を学ぶ。

▶ 本時のねらい

- ・ 表情から相手の感情を読み取ることができる。(人・コ)

指導過程

段階	学習内容	指導上の留意点
導入	<p>1. 前時までの学習や学校生活の振り返りをする。 2. 表情カードを使って感情を読み取る。</p> 	<p>・ ルールを守りながら会話をする姿が見られた際にはそのことを認め、行動の定着を図っていく。</p> <p>T 「まずは、中学校まで行ってきた、表情カードを使っての気持ちの読み取りを行いましょう。」 S 「これは今までやってきているから得意です。」</p>
展開	<p>3. 本時の目標の確認をする。 4. 写真を使って感情を読み取る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">A </div> <div style="text-align: center;">B </div> <div style="text-align: center;">C </div> </div> <p>5. 動画を見て、相手の気持ちやその場に応じた行動や発言の仕方を学ぶ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;">  <p style="text-align: center;">地理の授業中、パソコンを使ってグループで調べ学習をしていました。 調べている最中にパソコンの構造や組み立て方等を友達に思いつくまま話したら、友達は相手をしてくれませんでした。 友達はなぜ、相手をしてくれなかったのでしょうか。どういう行動をとればよかったのでしょうか。</p> </div>	<p>T 「次は写真を見てみましょう。Aの写真はどんな気持ちでしょう。」 S 「写真の方は気持ちが分かりづらいな…。どこを見たらいいのかな。」 T 「表情だけでなく、相手の仕草なども見るといいですよ。」</p> <p>・ 仕草や顔の細かな変化にも注目することで、相手の気持ちを読み取ることができることを伝える。 ・ 生徒の周りで起きそうな場面を提示し、相手の気持ちと表情カードをマッチングさせたり、実際のやり取りをロールプレイしたりする。</p> <p>T 「以前の学習で会話を続ける学習をしましたね。なぜこの場合は続けることができなかったのでしょうか。」 S 「調べることと関係のない話をしているから？」 T 「そうですね。その場に関係のない話をする则会話が続きませんかですね。相手の表情はどうなっているでしょう。」 S 「少し困っているように見えます。」 T 「そうかもしれませんね。そういうときは、会話の内容を変えたり、話しかけるのをやめたりしましょう。」</p>
終末	6. 本時の学習を振り返り、自己評価をする。	・ 相手の感情に気付くことができたことを認める。